

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学と心理的支援		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 木曜2限	教室名	心理実習室
担 当 教 員	小川 正子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心の基本的な仕組みと機能、環境との相互作用や心理的反応、成長・発達段階での心理的な課題について学び、さらに課題への対処法としての心理学的支援法についても学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70%、出席評価点20%、平常評価点(レポート、授業態度、ノート等)10%とし、優80点以上、良70点～79点、可60点～69点、不可59点以下と評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは特に用いない。適宜資料を配布する。						
《授業外における学習方法》						
心理学概論、臨床心理学概論、心理的支援法と重なる科目であることから、他の心理学系の科目で学ぶことも重要であることとらえること。						
《履修に当たっての留意点》						
心理学概論、臨床心理学概論、心理的支援法と重なる科目であることから、繰り返し学習し基礎的知識の定着を図る。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神分析の創始者と、基本的な考え方及び用語を覚える。		PC プロジェクター PPT 配布資料	
		各コマにおける授業予定	精神分析、行動療法、認知療法の成立の歴史的背景とそれぞれの立場の違いを学ぶ①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動療法に関わる人物と、行動療法のバックボーンにある考え方を覚える。		PC プロジェクター PPT 配布資料	前回の授業内容を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神分析、行動療法、認知療法の成立の歴史的背景とそれぞれの立場の違いを学ぶ②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知療法の基本的な考え方、関連する人物について覚える。		PC プロジェクター PPT 配布資料	前回の授業内容を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	精神分析、行動療法、認知療法の成立の歴史的背景とそれぞれの立場の違いを学ぶ③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	用語をアウトプットできる。		PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「条件づけ①」古典的条件づけ、汎化、分化、古典的条件づけの種類について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	用語をアウトプットできる。		PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「条件づけ②」オペラント条件づけ、汎化、分化、強化スケジュールについて学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	条件づけと各療法を関連づけができる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「条件づけに基づく行動療法」 古典的条件づけ、オペラント条件づけに基づく行動療法について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	類型論と特性論の違いを説明できる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「個人差と人と環境」パーソナリティの形成における環境の役割について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達に関する理論と特徴を弁別できる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「生涯発達」発達心理学の研究領域、発達に関する理論について学ぶ。成熟優位説、輻輳説、相互作用説。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	エリクソンとピアジェの発達段階を述べることができる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「発達段階」エリクソンとピアジェの発達段階説について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	防衛機制と特徴を関連付けることができる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「適応と不適応」心の健康の考え方、適応と不適応状態について、精神分析の力動論を中心に学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレッサーとストレス状態を説明できる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「健康生成論」ストレッサーに対するコーピング理論や、健康生成論について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動観察の種類を挙げることができる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「心理アセスメント」アセスメントの方法を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセラー試験や心理学検定で過去に出題された問題を解くことができる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「心理的支援の基本的技法」さまざまな心理療法について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセラー試験や心理学検定で過去に出題された問題を解くことができる。	PC プロジェクター PPT 配布資料	配布プリントを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	「アセスメントと介入技法」事例を通して、心理的問題と支援方法の具体例について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	当該授業で取り扱った基礎的用語と意味を関係づける。	PC プロジェクター PPT 配布資料	全ての授業の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	授業の総まとめ		